



日本書紀巻一間書

名称	御調八幡宮文書
よみがな	みつきはちまんぐうもんじょ
指定	市指定
種別	重要文化財
種類	古文書
所在地	八幡町
所有者	御調八幡宮
指定年月日	昭和 56 年(1981)10 月 21 日
構造形式 法量・員数	書冊 紙本墨書 日本書紀巻一間書 1 冊 25.0cm×16.5cm 卷子 紙本墨書 八幡大菩薩縁起 2 巻 上巻 32.0cm×2000.0cm 下巻 32.0cm×1235.5cm 備後八幡宮大菩薩畧縁起写 1 巻 29.0cm×100.0cm
時代	室町時代
公開状況	事前連絡が必要
交通案内	JR三原駅から北へ約 14km

【解説】

日本書紀^{まきいちききがき}巻一間書は、日本書紀を真言宗の立場より解釈したものです。良遍の口述したものを頼舜が筆記し、奥書に応永 26 年(1419)8 月 17 日薩摩国宍口房と記してあります。

八幡大菩薩^{えんぎ}縁起は、代表的な八幡宮縁起絵巻で、別に「八幡菩薩御縁起」という詞だけの写本があり、その奥書に永禄 9 年(1566)に書写されたとあります。

備後八幡宮大菩薩^{りやくえんぎうつし}畧縁起写は、建暦 2 年(1212)に三宅貞時、応永 13 年(1406)和気経直、天文 4 年(1535)和気高尚、貞享元年(1684)宍算、享保 19 年(1734)宍秀と引き継いで書写したものです。